

(資料34) 所内公募型研究制度の実施状況

1. 奨励研究平成13年度実施状況

平成13年度においては、基盤的研究10課題、長期モニタリング2課題及びFS2課題の計14課題を実施した。

種類	氏名	課題名	研究期間	(千円)
基盤的研究 2,500千円 ×10	青野光子	オゾン感受性突然変異体を用いた植物の環境適応機構の解明	13	2,500
	玉置雅紀	CDNA マイクロアレイによる遺伝子発現パターンの指標とした生物への環境影響のモニタリング手法の開発	13	2,500
	上原 清	高架道路によって覆蓋された沿道の大気汚染濃度分布に関する研究	13	2,500
	日引 聡	自動車車種選択に関する計量経済モデルの構築と環境税導入が車種選択および環境負荷に及ぼす影響	13	2,500
	松本 理	ダイオキシン類の毒性発現に関わる酸化ストレスの発生とその防御反応のメカニズムに関する研究	13	2,500
	石堂正美	電磁界の生体影響評価に関する研究	13	2,500
	今井秀樹	中枢神経障害における神経細胞再生のメカニズムに関する研究	13	2,500
	村田智吉	鉛リ-電子機器廃棄物から新たに予測される金属汚染の土壌微生物群集への影響評価	13	2,500
	稲葉一穂	新しい抽出媒体を用いた汚染物質の回収に関する基礎的研究	13	2,500
	清水 厚	複合リモートセンシングによる鉛直物質輸送に関する解析方法の開発	13	2,500
			小計	25,000
長期モニタリング	横内陽子	南半球におけるVOCのベースラインモニタリング	13~17	5,600
	中村泰男	瀬戸内海播磨灘における夏期連続環境モニタリング	11~13	4,000
FS	志村純子	アジア太平洋地域における生物多様性情報基盤整備	13	2,700
	杉本伸夫	ライダーによるアジア太平洋地域のエアロゾル立体分析に関する長期モニタリング	13	2,700
			小計	15,000
合計				40,000

2 . 特別研究の平成 13 年度実施状況

平成 13 年度においては、新規 2 課題を含む 6 課題を実施した。

課題代表者	課題名	研究期間	(千円)
今井章雄	湖沼における有機炭素の物質収支及び機能・影響の評価に関する研究	13-15	17,700
田村憲治	中国における都市大気汚染による健康影響と予防対策に関する国際共同研究	12-16	13,600
畠山史郎	大規模広域大気汚染に関する国際共同研究	13-17	13,100
野原精一	干潟等湿地生態系の管理に関する国際共同研究	11-14	15,600
中根英昭	大気汚染・温暖化関連物質監視のためのフーリエ変換赤外分光計測技術の開発に関する研究	12-14	17,200
牧秀明	海域の油汚染に対する環境修復のためのバイオレメディエーション技術と生態系評価手法の開発	10-14	22,800